

【事例89】「災害用の懐中電灯やラジオの乾電池を点検しましょう！！」

【事例】防災グッズの中に入れていた懐中電灯の乾電池が液漏れし、3歳の娘が太ももに化学やけどを負った。事業者には調査してもらったら、4本のうちの1本の乾電池の+と-を逆にセットしていたために液漏れが起こった。

【対処法】① 電池の装填について：電池の+極と-極を確かめて、正しく装填しましょう。また、古い乾電池と新しい乾電池を混合して使わないようにしてください。② 使い方の注意：機器を使用した後は必ずスイッチを切りましょう。また、使い切った後の乾電池はすぐに機器から取り外して、適切な方法で廃棄しましょう。③ そのほかの注意点：金属類と一緒に電池を持ち運んだり保管したりしないようにしましょう。また、電池から漏れた液体に触れた場合は、すぐに大量の水で洗い流しましょう。

※何か問題が起こったら、企画課の消費相談窓口で相談しましょう。